～登壇者ご紹介～

宇都宮　浄人

関西大学経済学部　教授

＜略歴＞

1984年京都大学経済学部卒業。1991年マンチェスター大学修士（経済学）、2021年京都大学博士（経済学）。1984年日本銀行に入行。2003年日本銀行調査統計局物価統計課長、2010年同金融研究所歴史研究課長などを歴任。2011年から現職。2017年度、2024年度上期、ウィーン工科大学客員教授を兼任。主著に『持続可能な交通まちづくり』（柴山多佳児氏との共著、筑摩書房、2024年刊、第50回交通図書賞受賞＜2025年＞）、『地域公共交通の統合的政策』（東洋経済新報社、2020年刊、日本交通学会賞＜2021年＞、第42回国際交通安全学会賞受賞＜2021年＞）、『地域再生の戦略』（筑摩書房、2015年刊、第41回交通図書賞受賞＜2016年＞）、『鉄道復権』（新潮社、2012年刊、第38回交通図書賞受賞＜2013年＞））、など。2021年日本交通学会副会長。専門は交通経済学、経済統計学。

Supported by THE NIPPON FOUNDATION